大正三年四月一日納本發行　每月一日發行
明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

女子青年界

第拾卷第四號

目次

◎女子の學生と其宿泊處……………小此木松子
◎東京女子青年會寄宿舍…………………
◎國家の進步……………博士ヘンダーソン
◎剛健なる生活……………白井胤祿
◎感化の力……………二宮貞子
◎耶蘇とサマリヤ婦人……………柏井生
◎基督傳の敎訓（三）……………彌滿生
◎獅子國物語（上）……………はにわ
◎彙報
全國青年會大會　婦人講演會　ヘンダーソン博士　日曜學校聯合大會　萬國學生祈禱日
◎會の消息
日本基督教女子青年會本部　東京基督教女子青年會
神戸女學院青年會年會
神戸、京都、大阪、
◎廣告

日本基督教女子青年會

電話と振替

東京市牛込區田町三丁目十二番地
日本基督敎女子青年會本部
電話番號
番町 四五六三番
振替貯金口座番號
東京 貳參七貳參番

東京市麴町區三番町四十一番地
東京基督敎女子青年會
電話番號
番町 四五六二番
振替貯金口座番號
東京 貳參八貳參番

「女子青年界」

一、「女子青年界」は日本基督敎女子青年會中央委員が發行する雜誌也。

一、「女子青年界」は一年分郵税共五拾錢、一部郵税共金五錢さす。

一、日本基督敎女子青年會は女子の衞生、社交、智識、靈性上の發達を圖るための團體也。

一、日本基督敎女子青年會中央委員左の如し。

委員長 井深花子
副委員長 岡見惠子
記錄書記 三谷民子
會計 井上友子
萬國基督敎女子青年會同盟委員、萬國學生基督敎同盟會委員 河井道子
「女子青年界」編輯主任 小此木松子

東京在住委員
津田梅子
鈴木歌子
長谷川喜多子
ジー、エム、フィシャー
山田千代子
エ、ビー、ウエスト
小此木松子
二宮貞子
サラ、エリス
イ、ウー、クレメント

地方在住委員
大阪 廣岡淺子
京部 佐伯小糸子
京都 松田道子
京都 ミス、デントン
廣島 ミス、ゲインス
岡山 上代淑子

幹事
日本基督敎女子青年會總幹事 河井道子
同 エ、ジー、マクドナルド
同幹事 アー、ルホルガン
東京基督敎女子青年會總幹事 エム、エル・マシユウ
同幹事 ジー、アール、リトネ
同特志幹事 エム、ベーボ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京基督教女子青年會

女子寄宿舍

東京に遊學する女子學生のために、最も注意すべき事は、其居場處てあります。是非とも、相當な監督者のある、確實な所に居なければなりませぬ。其居處が確かて、監督が行屆くならば、先づ安心といつてよいとは、女學校當局の一致した考であります。

東京女子青年會は、此精神に基き、家庭的寄宿舍を

牛込區納戶町四十五番地 **第一寄宿舍**
舍監 門倉ふじ子

小石川區水道町廿八番地 **第二寄宿舍**
舍監 大西絹子

の二個所に設置し。教育あり、信仰あり、經驗ある舍監を置き、女學生諸子のために及ぶ限りの御世話を致して居ります。入舍希望の方は、其舍々監に宛て直接御照會下さい。詳細は御照會次第御囘答致します。又た短期の宿泊も許しますから、講習等の爲に出京の方にも宿泊の御便宜を圖る事が出來ます。

院長診察｛月、水、木、金、午前
入院診斷後應需

松田、林、峰間、三副長は目下當院に在勤

東洋內科醫院

電話本局 八八八八（病院用）
八九八八（私宅用）

東京神田區駿河臺鈴木町二
御茶水橋附近

院長 醫學士 高田畊安

神奈川縣高座郡茅ケ崎町相海濱
從停車場半里

電チガサキ二番

南湖院

河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

廓清會と雜誌『廓清』

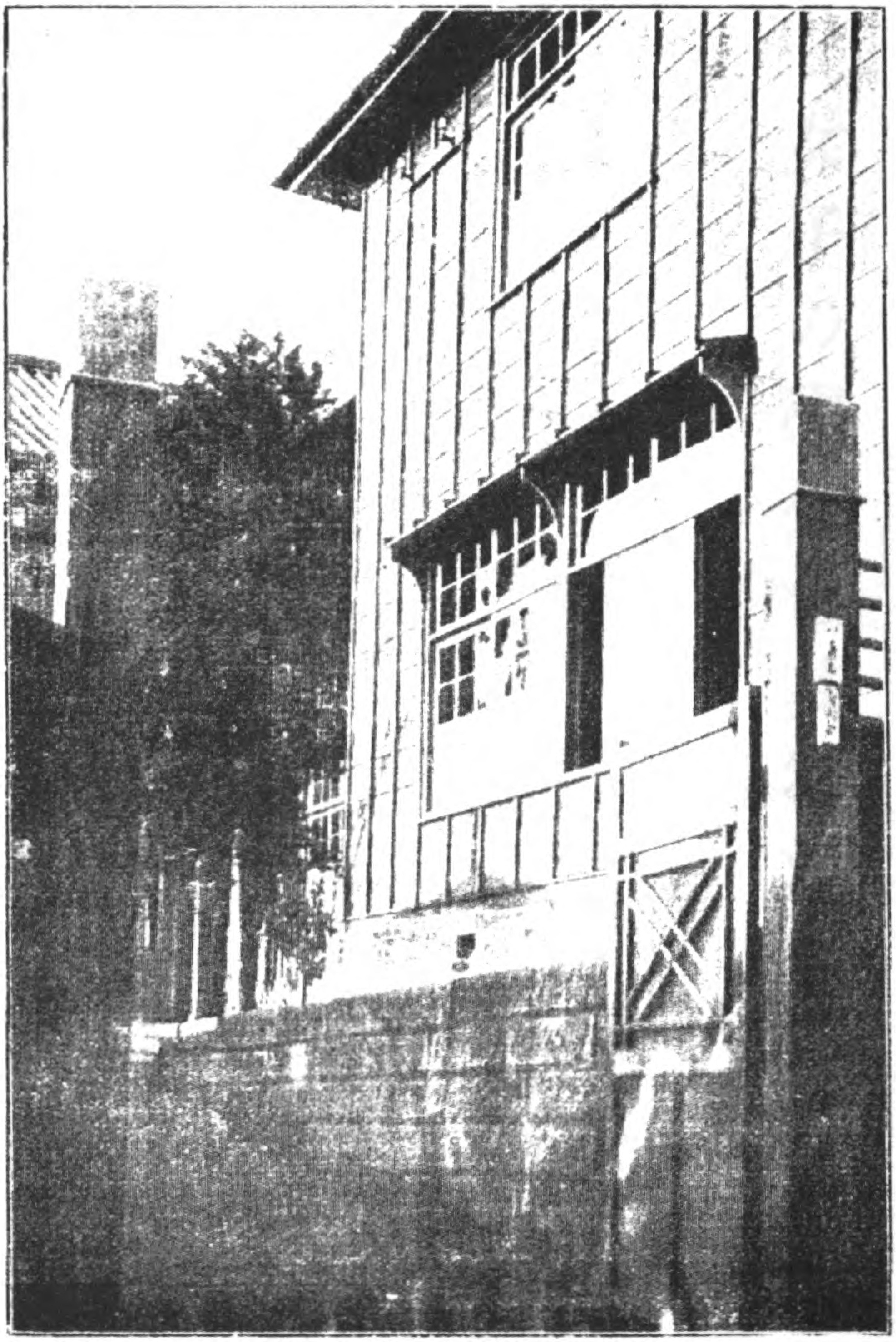
廓清會は社會の改良、風紀の廓清、男女の貞潔、家庭の和樂を主義として奮鬪する團結にして。この主義は即ち雜誌『廓清』の主張なり。苟も國家社會の根本的進步改善を希ふものは必ず本會に加はり本誌を讀まざるべからざる也入會せんと欲する方は住所職業氏名年齡を詳記し會費を添へて本部へ申込まれたし。會費は一ケ年金六拾錢也。
廓清會員へは『廓清』每號無代配送す。

廓清會本部

東京市神田區美土代町三丁目三番地

追伸 會費納入は振替貯金口座東京壹九五參參番益富政助（本會常任理事）へ宛て送金票の裏面へ「廓清會費」と明記して拂込まるゝを便とす

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



東京基督教女子青年會第一寄宿舎

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子青年界　第十巻第四號（大正二年四月一日）

女子の學生と其宿泊處

小此木松子

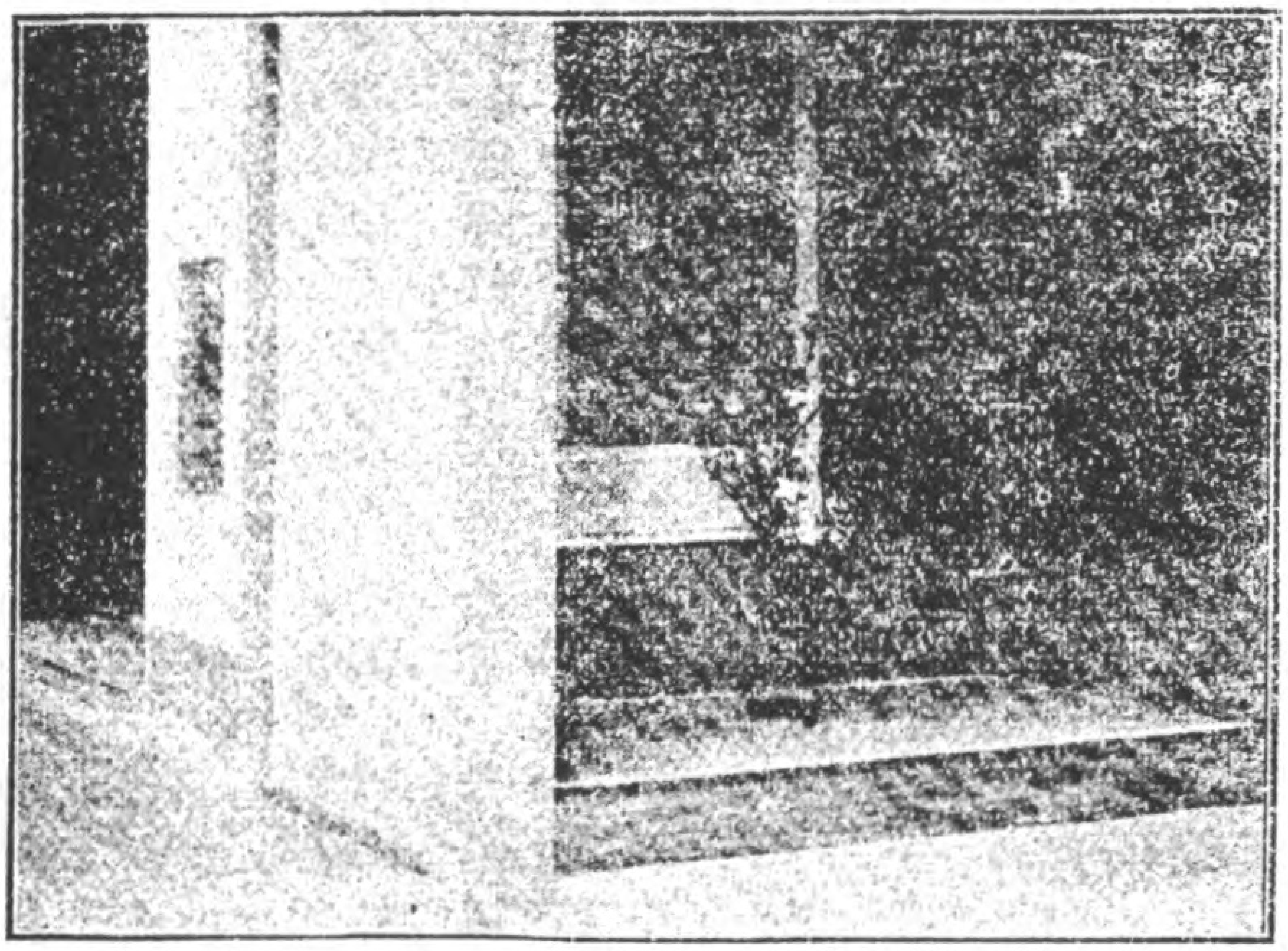
現今、我が、日本基督教女子青年會の東京支部の事業として、市内に二つの寄宿舍が經營せられて居る事は、疾くに會員諸姉の御承知の事であらうと思ひます。兩舍とも、幸に、委員、舍監、並びに宿泊せらるゝ學生諸姉の御盡力に依て、日を追つて榮えて參りますのは、眞に喜ばしい次第で、尙、今年の中には、目下計劃中の第三寄宿舍の建設をも見るに至ることを望むで居ります。是等、本會寄宿舍設立の趣旨は、學生諸君に、適當なる監督と誘導とを與へると同時に、純美なる家庭的趣味と娯樂とを供へ樣とするに在るので、委員及び監督者諸氏が、採り行はるゝ大綱も此處に基して居る事を疑ひませむ。勿論、實際の上に於て改良を要す可き點も多くありまう。是等は、當局者に於ても夫れそれ留意苦心して居られる所で、漸次完成の域に進む事と信じます。昨今、新學年編成の期に際して、地方より上京せらるゝ多數の學生諸君が、多く此種の宿泊處を撰むで起居勉學せられむ事は、吾々會員のみならず、市内の事情を詳にせらるゝ父兄、或は教育者諸氏の大に希望せらるゝ所であらうと推測致します。

數年以前に、某々教育者大家が集會せられて、女學生監督上の規則を作れた事を記憶して居ります。其當時の新聞其他の通信には、是を「可らず十何條」とか名けて冷評を試みてありましたが、其頃遠國に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

在りて之を見た私は、其規則の當然にして批評の當らざるを一人可笑しく感じたのでありました。近頃までは、自由にして無制限なるが如く我國に誤解せられて居た歐米男女交際法の如きも、近年に至りて漸く其處に嚴重の禮儀作法の存在して居る事を知られる樣になりましたが、社交上の禮法の嚴守せられて居る社會ですら、年若い女子の行動には非常に制限が置いてあります。殊に我國の樣に、舊習を破つて未だ日の淺い社會では、各人の取り守る所が定つて居りませむ。從つて若年の人達が遠慮し、警戒し、自ら取締る可き點の一層多いのも止むを得ない事でありませう。

寄宿舍に制限が多過ぎるとか、監督が窮屈過ぎるとかいふ聲は屢々青年女子の方々から耳にする所でありますが、私の狹い經驗で考へますれば、今の日本の所謂女學生程、日常の行動に關して自由、放縱を許されて居るものは、他の文明國には少からうかと思はれます。之を許すのは、父母、監督者の大なる誤りであり、自ら制し、制せらる可きを知らずに過す學生の爲には眞に悲み惜む可き現象であります。監督と申しても勿論一擧一動に干渉するの意味ではありませむ。一定の範圍以內の事に關しては、各自の判斷を用ゐて、行動するのは當然の事で夫れに依て意志を強め、判斷力を增進する事も出來るのですが、其範圍以外の事に至つては、一切、保護者の助言を俟つのが至當でありませう。



女子青年會寄宿舍內部(一)

昨日までは、父母の膝下に起臥した者が、更に高等の敎育を受けむが爲に出京して、唯其居處の撰擇

を誤つたが爲に一生を悲境に沈め、或は、修養の途をふみ迷ふて、無用の人間となり果つる人も多いと聞きます。誘惑の多い都市に出でては、餘程の決心と後楯とが無ければ、さも有りさうな事と一人怖ろしさに堪へませむ。幸に、賴る可き親戚知己の家に寄寓し得らるる人は幸福ですが、靑年女子を監督する事を望みましても或は眞に監督し得る家の少い東京の樣な都市に於ては、必ず夫れ〴〵信賴す可き學校の寄宿舍、其他の安全にして充分なる監督ある宿泊處に居を定められむ事を新來の女子學生諸姉に切望する次第であります。

思ふに廿歲前後の學生諸姉は、まだ〳〵所謂「一人前」の成人ではありませむ。充分の上にも充分に他人の顧慮を煩はさなければ、處世の上に大なる誤りを生じませう。永い間の學生生活に兎に角一時別れを告げた吾々も、今尙朝夕長者に待たねばならぬ事が多いのに驚かれます。今も尙、一定の監督を受け、自ら愼むと同時に、他よりの指導誘掖を得て、始めて日常の事に處して行く事が出來るです。どうぞ地方から始めて御上京の諸子は、急激なる生活上の變化に對して、一時の新奇と自由とに眩惑せられず、充分自重して、信賴する監督者と共に、意義ある生活を始めらるゝ樣切に希望して居ります。

東京基督教女子青年會 女子寄宿舍

▲回顧すれば、我が東京基督教女子青年會が、各地より遊學する青年女子のために、一の小さな寄宿所の如きものを創設したのは、實に、今より凡そ七ケ年以前の事であつた。

▲創設後、間もなく、スコットランドのレデー、オバートンより第一寄宿舍建築費を、第二寄宿舍建築費としては、カナダオッタワのミセス、ラムスデンより、何れも莫大の寄附金を與へられて、現在の二個所の寄宿舍を建設することを得たのである。

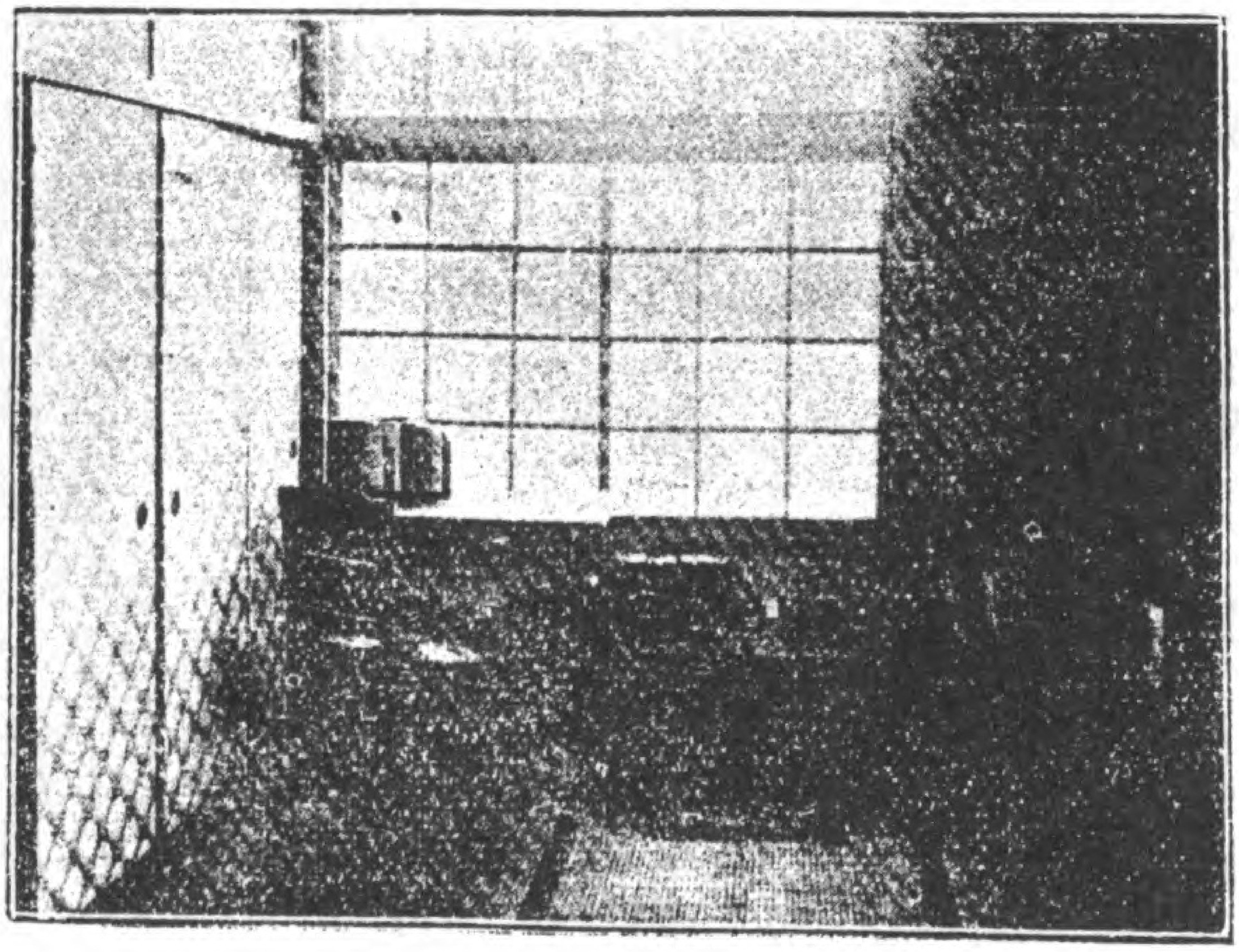
▲其後、ニューヨークのバッサー、カレーヂの學生

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

諸子より、第三寄宿舍の建築費として、金八千圓の寄贈を受け、之れを基礎として、東京基督敎女子青年會中央館たるべき、事務所、寄宿舍及集會所其他の設備を含める建築物を、市內神田區の要樞に設置せんと、現に、其委員一同は其計畫の進歩に盡力奔走しつゝある。

▲此等建築費寄附の外に、敷地購入のためにも亦多大の同情を得、即ち、第一寄宿舍敷地のためにはレーバー、インデヤのミセス、テユーナーよりの寄附を受け、第二寄宿舍の敷地購入費は、一時、本部よりの借入を以て充當したるが今や、幸にして、日本に於ける內外多數の同情者によつて、既に、之れが償濟額を得て餘あるに至つた。

▲又、新計畫中の第三寄宿舍敷地購入費中へは、ロスアンゼルのミス、ゴールデーより、金六千圓の寄附金を受領して居る。


女子青年會寄宿舍內部(二)

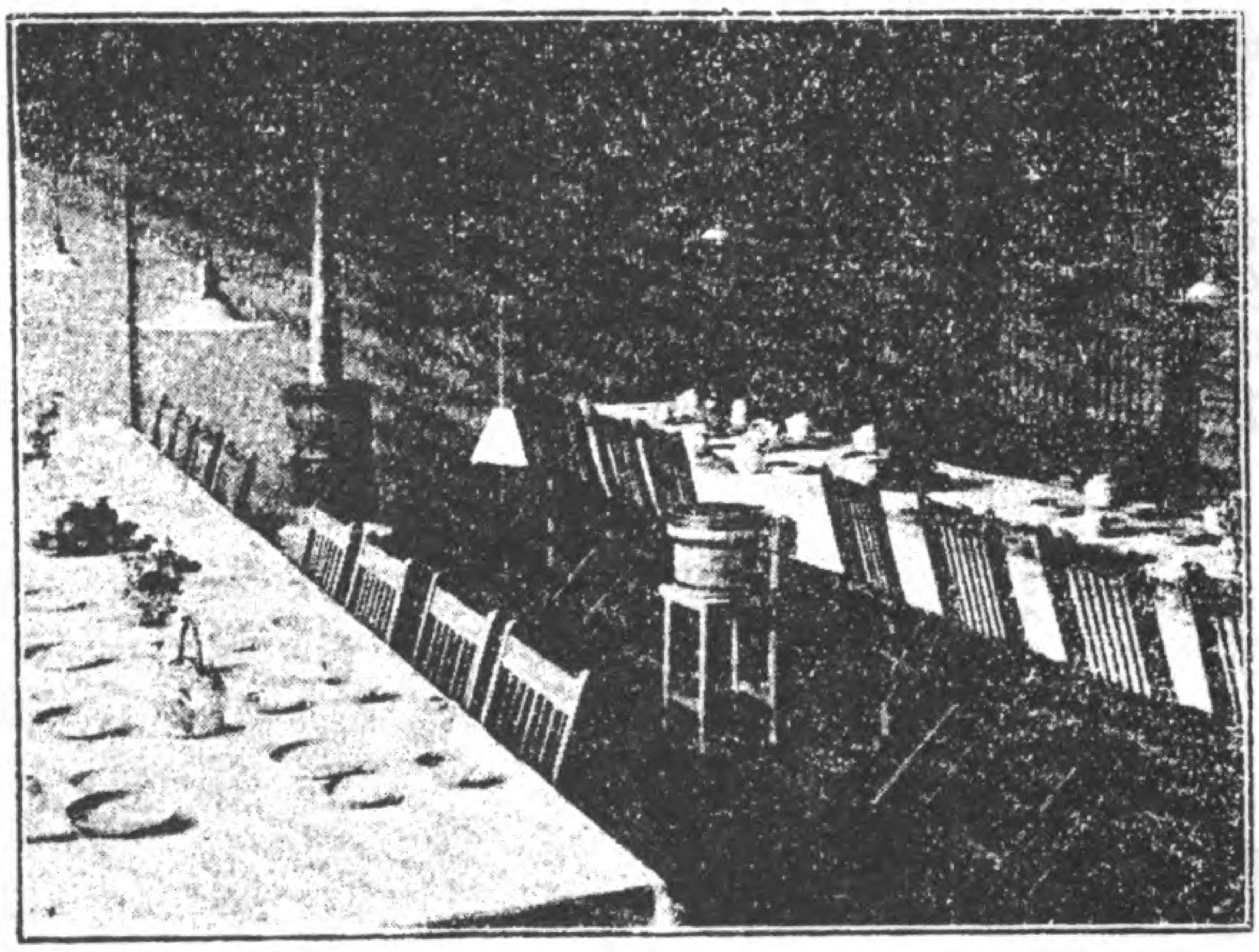
▲猶ほ、この中央館、第三寄宿舍計畫を發表せし以來、豫想以上の同情を受け、この勢を以て推移せば、仁俠なる內外有志諸氏が、この新計畫に對して滿足なる到着點に達せしめらるゝの日は、必ず、遠からざるを信じて疑はない。

▲要するに、第一寄宿舍といひ、第二寄宿舍といひ、將た、現計畫中の第三寄宿舍といひ、これ、皆現代社會の要求に應ずるに外ならずとはいへ、畢竟、天下同情の賜であつて、我が青年會一同は、同情人士に鳴謝措かざると同時に、更らに、責任の重きを思ひ益奮勵して、悉心の誠を致さんと期して居る次第である。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲さて、斯くの如くにして成りし、本會經營の女子寄宿舍は、いふ迄もなく、基督教主義である。即ち基督教主義に依て舍生一同を安全且幸福なる家庭的情味に浴せしめんとするのが、主要の目的である。舍生相互の關係を親密ならしむるに在るは勿論であるが、基督信者たる舍監及舍生の多數を有する本寄宿舍の如きに至ては、未信者も一旦此所に入りては自ら基督教主義の家庭的情味及基督者生活の如何をも味ふ事が出來るのである。

▲且、それのみならず、各地方より出京して、各別々の學校に通學し、各別々の學藝を修むるものが、同一の舍内に起臥し食卓を共にし、相共に働き、相共に助くるの境遇に在るため、自然、相互に、其趣味を廣くし、忍耐交讓の精神、同情他愛の情念を助成し、如何にせば、其の友情の價値を發現し得るかを、實際的に學び得らるゝのである。かくて、眞個の友愛關係は、進んで神との友情的關係をも知得するに及ぶ。



女子青年會寄宿舍内部(三)

▲本會經營の寄宿舍の主義精神は右の如くであるから、舍内の規則又は取締の如きも、徒らに嚴重なる法文の如きものを制定して、束縛するが如きことはない、唯だ、出入時間其他二三の緊要なるものの外に繁多でない、蓋し、友愛的共同生活の中に舍生を置いて、常識と道德を以て導くのは、より以上の好律法はないといふ吾人の信念によるからである。

▲されば、舍生は順番を立てゝ、家に在ると同じく舍内の掃除其他の職分を課して、每日此等日常の事

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に服して居る。又、毎夕禮拜あり、日曜日の夜は他より先生を聘して聖書の講義あり、此等の集會及び日曜日朝の教會の禮拜に出席すると否とは、舍生各自の自由なれども、何れも出席者は頗る多い、のみならず、日曜日朝の禮拜の如きは、可成、教會を一定して、規律正しく出席し、時間の許す限りは、其教會の助をもなさんことは、舍生に對して望む所であつて、且、その然らんことを務めて居る。

▲又、舍生中の有志は、啻に、自己の修養につとむるのみでなく、毎日曜日には、寄宿舍附近の小兒を集めて日曜學校を開き、自ら其組の一を受持つて、大に此方面に盡力して居るものもある。

▲本寄宿舍には、舍生監督と舍內取締との爲めに、敎育あり信仰ある舍監を各舍內に定住せしむるの外寄宿舍委員ありて、毎月一回例會を開き、舍生の爲め、舍の維持其他萬般に就き、丁寧に協議し、本會の寄宿舍經營の方針に副ひ、萬々遺憾なからんことを期する。

▲指折り數ふれば、本會寄宿舍創設以來、累宿せし姉妹は、實に、三百名にも達して居る。而して其方々は寄宿舍より何ものかを受けたでせうか、將た、我が寄宿舍は、其方々の心の中に何ものかを與ふることが出來たでせうか。幸に、我が寄宿舍に於ける生活の憶に無意味ならざりしを覺得して、家に鄕に歸られた方があるとすれば、眞に、これ滿足の至りである。猶ほ、現在の舍生諸子に對しても、亦益々和合一致の實を行つて、家庭的共同生活の中に、品性を練り、德を養ひ、學を修め、故鄕に歸らるゝの日は、家庭のために、社會のために、眞個有用の人たるの素地を作らるゝことを希望し、且つ力を盡して居る所である。

國家の進步

博士ヘンダーソン

私は、今、社會の進步といふ事に就て、少しく說明を試み、而して、今日の青年が如何にして此進步を促進し得るかといふことに就て、意見のある所を述べて見たいと思ふ。

先づ、進步とは何か、何を意味するかといふ事を尋ぬる必要があると思ふ。

進步とは、第一に人類の身體の改善を意味して居る、即ち、人間の腦は身體の一部分にして、而かも其腦によりて世界に事をなすものなるが故に、人類の進步の一大要素は人々の健康といふ事である。

第二に、人間の能力の發達は進步の一要點である殊に、工業上の能力、即ち、衣服其他の物品を製出すること、家屋を建築すること、其外のすべての社會人類の境遇を改善する物品を製作する腦力である而して、此能力も亦人類の健康、道德の如何に關聯するものである事は、今更ら喋々するまでもない。

第三の要素は、敎育であつて、即ち、文明、禮儀作法の美、智識の發達、美術の進步、正義の斷行、品性の向上及び信仰の純潔等によりて成る、神聖にして高尙なる敎育は、眞と善に滿てる美はしき生涯を意味する。

今、是等、人類の健康、能力、文明及び敎育の改善の方法については、一般人類の健康と學術との關係を實例によつて調べて見たいと思ふ。日本などでも、此改善を圖るためには、色々立派な事が出來て居るやうであるけれども、余は、此點に於ては、東洋に於ての出來事よりも、西洋に於ける出來事を、能く承知して居るが故に、自然、西洋に於ての實例

を引用することになるであらうと思ふ。
大昔の人々は、健康といふ事に就ては、實に幼稚なものであつた、すべて病氣といへば、地下或は樹の間に隱れて居る惡の靈があつて、それによつて起るものと信じて居た、故に、これ等の惡靈を慰むる必要があると思つて居た、何人かゞ病氣になれば、其は其惡靈が、其人の内に宿つたものと考へ、其靈を逐ひ出すためには、其病人を鞭つやうな事をも致したのであつた。
それから、第二に考へ附いた事は、不潔といふことであつた、卽ち、惡い靈は不潔と同棲するものであつて、身體を淸め、家屋を淸潔にして、常に光線に浴するやうに注意すれば、この惡の靈は自ら逃げ去るものであるといふ事を發見した。
第三の發見は、病氣の傳染といふ事であつた、或る病氣は、病兒と共に遊んで居る他の子供等に傳染するといふ事が分つて、之を防禦する道を考へ癩病人などは、全く市街の外に集める事になつた。
しかし、病氣の豫防を考へるまでに進んでも、其病氣の原因に就ては、未だ全く無智であつた。
歷史によりて見れば、其以前より永く眼鏡といふものが用ひられて居た、そして、其を通して見れば物が大きく見へることを知つて、段々と智識が進んで來て、顯微鏡をも造り出すやうになつた、之を利用して、終に、肉眼に見えないものを、牛乳とか、人間の血などの中に見出すやうになり、人間が或る熱病に罹れば、其人の血液の中には、一種の生物が生存して居り、又、他の熱病にも、それ〴〵違つた生物が、血液中に存することをも知るやうになつて、病氣の原因は昔の人の考へた惡の靈ではなく、全く肉眼に見えぬ少さな生物が血液中に生存するからであるといふ事を發見した。そして之が病氣の原因を取除く方法を研究せしむる端緒となつた。
五六十年前までは、コレラが大變に流行して、諸國の港々で、何千人といふほど、一時に倒れたといふ事は珍らしくない事であつたが、今では、顯微鏡

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と藥のお蔭で、コレラは既に退治の姿になつた。
私の親達の時代には、能く流行したものだけれども、私が住んで居た市街では、餘り聞いた事がないが、彼の能く子供等の罹るヂフテリアに就ては、三十年前迄は、何等治癒の道は開けて居なかつたので此病に罹つたものは、大抵死ぬるの外ないものであつた、けれども、其病原が、顯微鏡の御蔭で判然した時に、醫者は、下等動物から殖種疱を取つて、之を病體に挿入すれば、能く其疾病の力に打勝ち得るといふ事を發見した、今では、此病に罹つて醫者の助を求むる者の中で、死者は百分の一にも足らぬといふ事、實に之は醫學の勝利といふべきである。
キユーバでは、以前には、マラリヤと發黄熱とのために、戰爭に於て失ふよりも、多大の人數を失つたのであるが、此頃、醫者の研究によつて、此等の病の傳染の媒介となる昆蟲の繁殖を防ぐこととなつてから、發黄熱は殆ど見なくなり、マラリヤも大變に少なくなつた、スペイン人がパナマに來た時に、この發黄熱で大抵死んで仕舞つた、ラセツプスが、此所に運河を築かうとした時に、人夫が續々此病に侵されるので、金錢は充分にあつたが成功する譯に行かなかつた、其後、米國政府が此事業を始めた時には、先づ、軍醫が、此病の媒介となる蚊を征伐した爲に、健康の爲に最惡の熱帶地といはれたキユーバも、今は、死人の數も、米國の他の地方と比較して、さう違はない所となつたといふ事である。
シカゴにある一の團體は、近頃、或る方法を設けて肺結核に罹つて居る小學生を救ふことを、骨折つて居る、それは、藥を用ひないで、只た、普通以上に暖かい衣服を着せて、學校の屋根の上で、戶外授業をして居る、頗る良結果を示して、殆ど皆全快するやうである、彼等は、全く、新鮮なる空氣によつて救はれるのである、此經驗を以て、他の多くの子供をも、同じ方法によつて助け得らるゝのである、日本でも、此頃は、此病に冒されて居る青年男女の多い事を聞くが、斯る方法を採るやうにすれば、必

ず彼等を救ふ事が出來ると信ずる、私は、シカゴで實に熱心な壽い一人の牧師を知つて居たが、其人も肺病に罹つて、最早快復の見込は無いといはれて後五六ケ月間醫者の命令通りに、滋養分を充分に食し全く戶外に生活せし事によつて、遂に全快した、適當なる食物と、新鮮なる空氣は、確かに、此病を癒やすものである、而して、斯かる單純なる方法は、自分もこれを守る事が出來、他人にも之れを勸める事が容易である。

其他、西洋では一般人民の健康を圖るために、種々樣々の手段方法を盡して居る。

しかし、學術のみで健康を保護する事は、至難の業である、品性に伴はない學術は、必竟死物といはねばならぬ、强き意志と高き道德が大切で、單だ、智識のみでは充分でない、アルコールが、人體に如何に有害なるかを知つて居る醫學者が、それを飲用し續けて、遂に酒徒の墓に行く、又、不品行なる生活の恐るべき結果を知りながら、意志の弱いために淸潔なる生活に歸ることの出來ない靑年が幾千もある、實に、智識のみでは足りない、品性の伴はざる智識、宗敎なき道德は、恰も、設備完全にして未だ點火せざる機關車の如きものである。

學術は、自らの力によつて動けるものでない、吾等の日々爲すべき事を斷行するには、人間以上の力に賴る必要がある、其力に助けられつゝ、善を以て惡に勝つ事を練習しなければならぬ。

又、學術は、勞働者の事について、吾等に、色々の事を敎へて居る、或は、女が餘り長く働く事は健康上有害である、或は、幼い子供等に勞働を課すべきでない、或は、職工等を斯る境遇に置くは、將來社會の大損害を來すなどと敎ゆるのである、しかし斯る事を知るのみにては、決して彼等を救ふ方法ではない、眞に、彼等を救はんとする親切と同情が必要である、國家の有力者が、眞心から、彼等を思ひ其幸福を圖るやうにならなければならぬ。

一體、國家なるものが、眞の發達を遂ぐるには、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

唯一部の人々が進歩したのでは充分でない、私共は自らの進歩を謀ると同時に、吾々の樂しむ凡ての善きものを、普く、最下級の人々に迄も、分ち及ぼすことに盡力せねばならぬ、眞の愛國心とは、實に、この凡の階級の人々をして、美しき發達を遂げしめんとする精神をいふので、國家の進歩は、凡ての人民をして、より善き、より高尙なる生活に入らしむる事を得て、始めて完全なるものとなるのである。

第一敎育は人類の進歩のために最要である、如何にして健康を保有すべきか、如何にせば、正しき淸き生活に入る事を得べきか、如何にせば、美しい品性を作り上げ、高尙なる趣味を養ひ得るかといふ樣な事を學ばなければならぬ、又、唯だ知るのみにては充分でないから、進んで、如何にして實行し得るかを學ばねばならぬ、此世に在りて、物を得る方法が三つある、即ち、盜むか、乞ふか、或は有益なる働によりて儲けるかである、人は誰でも、何か働を見出すべきである、金錢に不自由なくして、別段、働く必要がないとしても、他人の爲に働く精神があれば、幾干でも働く道は見出される。

私は、理學の必要なる事は、勿論、認めて居る、又、世界の文學の有益なる事も、充分に感じて居る過去現在を通して、吾等に、善と美とを敎ゆる學者達に對して、充分感謝の意を表して居る、又、全世界の大敎師、大聖人、大詩人に對しても、心より尊敬して居る、しかし、私は、イエス、キリストに於て、始めて、眞善美、すべての中心を見出すのである、キリストは實に眞の源である、凡の敎師の中で最も完全なお方であつて、吾々に最も大なる助と力を與へ給ふのである。

今、私は、皆さんに向つて、今までに見出された善きものをお捨てになるやうには云はない、しかし若し、未だキリストを御存じない方があれば、是非とも、如何なるお方であるかといふ事を調べて頂きたい、而して、私が、キリストに於て見出したやうな、喜悦と滿足を發見せらるゝに至らん事を希望して止まない次第である。

剛健なる生活

白井胤祿

先年或る思想家が、英國民の氣風を論じた一節に、『近頃は氣運が一轉して、國民の希望するところの一は、勤勉、克己、修養、及び義務に對する宗教的熱心等の古き習慣に立ち返らんとするにありと云ふも諸君は等しく之に同意せらるゝであらうと想ふ』とあつた。自分は之を讀んだときに、色々な連想を喚び起され、我國に於ても何かして此う云ふ氣風の盛ならんことを祈つたことであつた。

▲何の世にも山師的な投機的な思想は中々勢を逞しうして居る。實着に歩一歩進んで行くなどはまごろこしくて、現代の氣分に向はぬと云ふやうに考へるものもある。又華美な、奢侈な、輕薄な風は、到るところに吹き荒んで居る。我儘で、惰けて、情も慾も恣にし、頽廢の氣が滿ちて居る。自ら新しがつて居る人の考へたり行つたり云つたりすることを見るに、何うも落ち着きのない、深いところのないやうな感じを懷かざるを得ない。

▲本當に覺めた生活は何なことをする生活でせう。矢張落ち着いて眞面目に、英國民が立ち返りたいと望んで居ると云はるゝ勤勉、克己、修養、及び義務に對する宗教的熱心を十分に發揮した生活の外なからうと思ふ。或る人は今日我らの要するものは力の宗教である、生きて働ける人間の宗教であると云ふ其の意味は兎に角、我らは日常の生活を最も有効に最も眞面目に、最も美しく、最も眞實に送り得る爲めに、在ゆる力を盡し、何物の犠牲をも惜まざるの宗教的熱心を起す必要がある。

▲曾て江原翁は余に語つて『日本人は仕事場に出て晝寢でもして居るもののあるを見れば、馬鹿〳〵しい自分獨り勞役しても詰らないと考へ、怠けの眞似をする。然し英國人は之に反し、假令仲間のものが惰けても一向頓着なく、自分は自分だけの職務を盡

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せば足ると云ふ風な顔をして、少しも其の仕事を止めない』と憤慨して居られた。斯の如く自分の職分に對し、生活に對し、飽まで忠實勤勉なる精神は我らの大いに學ばねばならぬところである。

▲カライルは怠惰は英國人の地獄だと云つた。ネルソンも其の部下のものに正直なる人間となれ、而して怠惰を惡むこと惡魔を惡むが如くすべしと云つた是れ實に英國人が世界に誇りとして居た剛健な氣象の現れである。此程或英國人は『英國の天候は我らをして不撓不屈の人種たらしめた。實際我らをして今日あらしむるに與つて大いに力がある。大平洋の諸島の人民は、日は温かく、地は果物に富み、耕さずして穀實り、家を造り、衣を作るべき方法を考ふることなく、極めて安全に生活す。然れども過去の時代に於て彼らは何をも爲さず、將來に於ても然り』と云つた。英國人の剛健な氣象は、日光の少い、暴風雨の多く、霧の深い天候の御蔭であつたかも知れぬが、彼らには花岡石のやうに堅い、ごつしりしたところがあつて、其が文學にも事業にも現て居る。

▲彫刻家バンクスは『勉强と忍耐』を其の標語とした。彼は之を自ら行ひ、人にも行はせた。或る日少年が遽しく其の戸を叩いた。下女怒つて之を追ひ返さんとした。バンクス之を聞きつけ、出て見れば少年が手に圖書を携へて立つて居た。其の故を尋ねると、先生の周旋で美術學校に入り、畫が學びたいと云ふ。バンクス之を見て、『お前は年幼ければ急ぐに及ばぬ。歸つてアポロの神像を今一段立派に書き試みよ。一ケ月の後また來りて我に示せ』と云つた。少年大いに勉强して一月後に之を携へて往くと、前よりも良く出來て居た。それで更に勵まさんと欲し一週間の後また來て我に示せと云つた。更に進歩の功が現れたのを見て『悦びなさい、お前は後に必ず大名を成すであらう』と云つたことがある。果して此の少年は後に有名なる畫家となつた。英才は決して一夜造りでは出來ぬ。勉强と忍耐との賜である。我らは投機的な、天才氣取な、輕薄な風を排して、

飽まで自分の力量を磨き、着々進んで倦まぬ精力を養ふ必要を感ずる。

▲ヂスレリイの傳を讀まば、惰夫も志を立てしむるものがある。彼が始めて文學界に出たときは、書くものも、書くものも評判が惡く、世人は彼を文學狂だと云つた位である。然し彼は決して之を氣にかけず、遂に世を驚かす傑作を出した。又國會議員になつて、始めて演說をしたときの如きは、一句每に冷笑を蒙つた。然るに彼は最後に『余は是れまで幾度も色々な事を爲し始めたが、遂に必ず成功した余は今此壇を下る。然し諸君は必ず余の議論を謹聽する時が來るであらう』と云つた。果して彼は其の後國會内の雄辯家を以て許されるに至つた。

▲奈翁を破つた英國の勇將ウエリントンはベニンシユラの戰爭の頃非常に苦しめられ、常人ならば怒つて其の職をも辭したであらうと思はれたほどであつた。然るに能く之に耐へ、遂に大功を奏し、將に將たるの才能を現したことである。元來彼は非常に激し易い、血性男子であつた。然るに此の場合に何故斯くまで堅忍なるを得たのであらうかと云ふに、是れは全く己が職分を重ずる精神の爲めであつた。國家の爲めに私情を抑へたのである。我らは之を深く感ずる。職分てふ一念の爲めに、情を制し、慾を斷つ、是れは我らの大いに學ばねばならぬところではないか。

▲斯の如く勤勉克己自修の精神を旺にすると共に、我らの最も養はねばならぬことは義務に對する宗敎的熱心である。云ひ換へれば、もつと日常生活を信仰的にすることである。昨日(三月十九日)丁度誕生百年を紀念されたリヴキングストン、亞弗利加傳道の開拓者、偉大なる此の宣教師の生活を考ふるに、彼は此の精神の非常に燃えて居た人であつた。彼は最後の誕生日に當り、其の日記に若年の頃誓たことを繰り返し、『我が王、我が生命、我が凡てのものたる耶蘇よ、我はまた我が全生命を汝に獻ぐ』と書いて居る。彼が宣教醫として亞弗利加の內地に傳道し

たのも、奴隷賣買禁止の爲めに戰つたのも、皆な此の神に獻げる心から遣つたのである。主の思召なれば何處にでも前進すると云つたものも、此の精神の叫びである。耶蘇が天父は今に至るまで働きたまふ我もまた働くなりと云はれた此の精神が漲つて居たのである。我らも神を愛し、耶蘇を愛し、其の思召に同情し、其の命に從ひ、身を獻げて凡ての義務を盡し、使命を全うしたいものである。

感化の力

二宮　貞

私共一個の人間として他人に及ぼす影響は實に驚くべきものであります。私共の一言一行は思はぬところへ善くも惡しくも感化を及ぼして行くものでありますから、決して吾儘勝手なる擧動をする事は出來ませぬ。私共時として、かゝる場合或は場所に於ては非常に自分の行動に注意を加ふる必要があるけれども又他の場合には別に注意する必要がないと云ふ樣な考を抱く事があります。學校の教師であれば生徒の前では常に自分の行爲に注意深くあらねばならぬ事は勿論の事と心得て居りますけれども其同じ人が家庭にありて其下婢の前に不注意であり我儘である事は自分もこれを免し、人も又左程咎めないのであります。かく人間の社會に於ける生涯と自家にありての生涯とを區別する傾のある事は實に可歎しい事であります。

私は近頃横濱に於ける青年會の働に關して同地の有力家を多く御尋ねする機會を得まして所々御伺ひする間に非常に感じて居りますことは、御取次に出て來られる書生さん、或は女中さん等の擧動によりて、其私共に對する接待ぶりによりて大分其内の御主人の人格が知られると云ふ事であります。御主人に逢つて見て成程こんな親切な、丁寧な御主人だから下婢も書生も皆これに習ふのであろう、或は御主人がこれだから女中も自然他人に對しての禮をかくのであろうなどゝ考へるのであります。始めて逢つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て其方の人格に感ずる樣な御主人には如何に無智であつても、田舍者であつても、不親切な無禮な下婢は先づないと云つてもあまり誤つて居ないであろうと思ふのであります。又一方には、始め伺つた時御在宅であつたものが「かく／＼の者が參りましたごうぞ御面會を願ます」と云へば急に御留守になつて見たり、午前中外出して居られた奧樣が午後にはもはや他人に面會の出來ぬ程大病になられたりする樣な家庭の女中さん等に不正直なものが多くあつても仕方がないのかもしれませむ。自から僞るのみならず如何に下婢なりとは云へ他人をして僞はらしむる事は實に大なる罪であります。

　私は或方が澁澤男爵の使つておいでになる人々が皆實に何人に對しても禮儀正しくて、丁寧で、愛嬌のある事を大變に感じたと云はれたのを聞きましたが、思ふに男爵の樣に御多忙でいらしても恐らく小さな事にまで注意深くして何人に對しても常に親切で居らるゝ事を下婢等も見習ふのでありませう。又かくある樣に敎ふる事に務めて居らるゝのであろうと御察しして居ります。

　で、私共は廣く人に接し多の人々を感化せんとする前に自家にありて其感化の女中にまでも及びつゝある事を常に心にとめて注意深き生涯を送る事を學びたいものであります、どんなつまらない小さな人間でも善きにせよ、惡しきにせよ何かの影響を及ぼすものであると云ふ事を覺えて如何なる場合に立ちても常に注意深き生涯を送りたいものであります。

　人間が自然に美はしくあり、勉むる事なくして自然に他人に善き感化のみを與ふる事が出來ればそれ程喜ばしい事はありませむ。然かしそう云ふ人はあまり澤山はないので、凡人はそれがために勉めなければなりませむ。それは練習する事によりて遂には自然にかくある事が出來る樣になるのであります、常に心掛けてこれを勉むる事は何人にも出來る事であり、又私共の神に對する義務の一つであると思ふのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聖書研究

耶蘇とサマリヤの婦人

柏井生

ヨハネ傳第四章に載せられたる、ヤコブの井の邊にてありし昔の物語は、我等が幾十回となく之を讀み之を聽いた事ではある然し猶ほ重ねて之を讀み直し考へ直す餘地があると信ずる。先づ

此の話は耶蘇に就きて何を示すか

第一に耶蘇の自然なることである。人情に近いことである。耶蘇は旅の疲れで井の傍に坐して居給ふのである。英國の老神學者ヂエームス、ドラモンド博士の著書に『ヂヨハナイン、ソオツ』と云ふのがある。散文と詩と相雜たヨハネ傳から得た感想を記したものであるが、其の中にこの處の「疲れ」と云ふ一語を題とした一篇の詩がある。その二節ばかりを引用しやう。

When Jesus too was weary,
And rested by the well,
His thought were ncoes dreary,
His Courage never fell.

* * * *

And though my arm be weary,
And strength may fade away,
Get no longer dreary,
Shall shine to perfect day,

英國倫敦の有名なる説敎者ヂヨセフ、パアカーも曾て此の聖句を題として説敎した。其の中に『此はこの「疲れて」の一語ある爲に神に感謝する。神の子がその日疲れて井の傍に坐し給ひし時、彼の地上にある疲れし男女の親戚となり兄弟となつた』と云ふ言があつた、二十五年前のことであるが良く之を記憶してその事を近頃の新聞に寄せた人がある。實に耶蘇も亦疲れしことありとの一事は社會の戰に疲

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れた人々に言ひ難き慰を與ふるものであるが、之と共に又我等を勵す事はこの疲れた所から新しい局面が開展し來り、類なく美なる物語が出て來たことである。疲れの後に新しき天地があるや否ここに岐路がある。

耶蘇が靈的の問題に入る方法も亦頗る自然であつた。其處に水を汲みに來た婦人に、一杯の水を求めた事から、活ける水、生命の水の靈趣竭かざる談話にはいつた。人生日常の事一として靈的の天地に入る路とならざるものはない。別けても人に親切をかけ、又親切をかけらるる交渉は人と人とを結び合はす紐となる。慧きフランクリンは或る人に自身の政治上の意見に厚意をもつてもらいたいと思つたときさほど必要でもなかつたが或る書物をその人の處へ借りに行つたさうである。流石に人の心理を良く了解した人である。耶蘇とフランクリンとは日を同じくして論ずべからざるものであるが、耶蘇も亦良く人情を讀んで居給ふた方であると思ふ。彼が弟子の足を洗はんとせられたときペテロは之を辭した。さうすると耶蘇は『もし我汝を洗はずば汝は我と干渉なし』と云へる事（ヨハネ傳十三〇八）など參照すべきである。

第二は、耶蘇の獨立自由の精神の現れて居ることである。サマリヤの婦は怪んで『汝はユダヤ人にして何ぞサマリヤの婦なる我に飲むことを求むるや』と問ふた。サマリヤ人はアッスリヤ人其の外の外國人の殖民によりて人種が純粹でなくなり又舊約聖書のこと預言書を取らぬと云ふやうな譯から、兩國民齊しくエホバの神を拜しながら其の間に不和を生じて親しき交際を爲さず、後代の定めによれば猶太人はサマリヤ人とともに麪包を食し葡萄酒を飲むことを得ずたゞ果物卵は外に皮ある故サマリヤ人から買ふも差閊がないと云ふことになつて居つた。然るに耶蘇はかかる不自然な習慣に拘らずサマリヤの婦に水を乞ふた。又ラビの誡によれば男子は公の場處に於て婦人と語るべからず其の妻とさへ室の外にて語

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ることは可くないと云ふことであつた。弟子も歸り來つて其の師が婦と語れることを不思議に思つた(二十七節)のは之が爲である。耶蘇は新しき酒は新しき革袋に入るべきものであることを信じ、改革改良の精神に充ちて居られた。日本人は兎角自己の獨立と云ふことを重せず又人の獨立心を尊重せざる弊がある。文學でも一の型が流行すれば誰も彼も之にかぶれる、かぶれないものは時代遲れの如く見做す傾があつて、社會を單調ならしめすば已まぬ。基督者たるものは一定の主義を抱き見識を有して苟くも世俗の風氣に支配せられざる覺悟を要する。

第三は耶蘇が人の靈魂を愛する熱情である。彼は一婦人を導く爲に疲を忘れ飢を忘れた。之をなす爲に寢食を忘れしむるだけのものを見出した人は福である。人は麪包によりてのみ生きず、耶蘇の云はれし如く『我を遣しし者の旨にしたがひ其の業を成し卒るこれ我が糧なり』世に樂しき事ありと雖も、人を敎に導くほど深き滿足と喜を與ふるものはない。

耶蘇はヤコブの井邊にてこの喜を經驗せられた。然して熱心は透視力を與へる。耶蘇がサマリヤの婦に既に五人の夫があつて今偕に棲めるものは正當の夫でないことを觀破せられたのは、無論人間以上の力が働いて居るに相違ないが、この力は愛と熱心によりて喚び起されたる力である。偉い泥棒になると倉の內に物がはいつて居るかどうが外から見たばかりで直覺することが出來るさうであるが、まして神の子には其の業をなすに必要なる透視力があるべきはづである。さて次に考へたいことは

耶蘇はその婦人を導くために
如何なる思想を與へ給ひしや

と云ふ問題である。

第一は神の賜と云ふ思想である。『汝もし神の賜と我に飮ませよと云ふ者の誰なるかを知らば汝我れに求めん』と云はれた。神の賜と云ふ思想は大なる思想である。人間その力を以て得たるもの幾何ぞ。健康なる體も、なしつつある勤勞も神の賜である。ま

して靈的の恩に至りては廣大無邊である。パウロの云ひし如く『汝等恩に由つて救を得これ信仰に由りてなり己に由るにあらず神の賜なり』(エペソ書二〇八)。宗教の生命は感恩讚美の念である。先づ神から與へられて有する所を明に覺知し之を感謝して受け之を活用すべきである。然らば更に求むる心が起らざるを得ない。神の與へ給はんとする所大なり。我等の志小く望低し。我等もし神の賜と之を與へたまふ基督を知るならば更に求むる所があるであらう。

第二は道徳上の要求である。基督教は美しき理想を與ふ。活ける水湧いて永遠の生命に至るの教何ぞ美なる、さながら詩の如くである。然れども宗教は詩ではない。良心の根本を離れ道義の念に徹底せず善し惡しと云ふよりも面白し樂しと云ふ念、主とならばそはたゞ一時樂しき夢を見たると同樣にして其の人の生活を一變する力となるに足らぬ。こゝに於て耶蘇は『汝往きて夫を呼び來れ』と云はれた。この命令は非常に嚴格である、權威を以てせる命令である。然れども又頗る柔な情のこもれる命令である何となれば右の婦の夫となつて居るものは耶蘇の前に出られるやうな身分でない。然るに耶蘇は汝の夫となつて居る者と別れて來よとは云はれぬ、汝の夫を呼んでともに來れと云ふ。實に有り難い命令でないか。何人でも之を耶蘇の前に連れ來つてはならぬと云ふ人はない。

第三は神との交通である。話はだん/\神を拜することに進んで來た。宗教には道徳が必要である。然れども道徳に止つてはならぬ。神を拜する神と交ると云ふ處へ進まねばならぬ。眞の拜する者は靈と眞を以て父なる神を拜するものである。靈と眞を以て拜するとは如何なることであるか。靈とは精神的と云ふことである。たとへば人と交際するに無闇に贈物をしたり饗應をしたりして交る人もある、もつと精神的に親しみを深くする道もある。神を拜するに供物をしたり犧牲を捧げたりしなくとも心を以て神に交ることが出來る、神は之を嘉したまふのであ

る。然れどもたゞ精神的なればよいかと云ふにさうでない。人と交るにも精神的であるを尙ぶとともに良く先方の好む所喜ぶ所を辨へて其の人の爲になるやうにし其の人に適することを勉めねばならぬ。神を拜するにも亦神の性質、神の聖意に適するやうにしなければならぬ。これが眞を以て神を拜することである。要するに心が誠で然かも又神の御心に一致することを必要とする。

第四に耶蘇の與へんとしたまふた思想は神の業である。話は神の賜から始まつて、神の賜を人に頒つ働に進んだ。神の爲に働くことによりて我等は更に大なる賜を受け得るものとなる。曰く『汝等獲時になるにはなほ四ケ月ありと云はずや我れ汝等に告げん目を擧げて觀よはや田は熟きて獲時になれり。獲る者は其の工錢を受けて永生に至るべき實をあつむ、かくて播く者と獲るものと同に喜ばん』。

基督傳の教訓

彌滿生

(三)基督の友情(再び)

前號の誌上に於て、「基督の友情」に就て一言したが、なほ、同じ題目に就て、學ぶべき一二を考へて見たいと思ふ。

其一は、基督の友情の根底には、同情が漲つて居たといふ事である。「失はれたるものを求めて之を救はん」といふ、其「求めて」は即ち「同情して」に外ならないのであつた、勿論、基督の同情は、理否を沒却した盲の同情ではなかつた、税吏の非道、娼婦の穢行は、能く責むべきを知り給ふた、此等を掩庇すべきでないことは言ふ迄もない、しかし、彼等が罪に捕はれて居る、暗い寂しい境遇に對し、更らに、彼等の中にも、其罪の捕はれより脫せんとする碎けたる心の訴のある場合に於て、基督の心情は、鼓動せざるを得なかつた。

思ふに、税吏の如き、其行爲の非道は卽ち非道なりしに相違なしとするも、また、捨て難き才能や、智識や、思慮を有したりしものも、これなきにあらざりしは、彼の使徒マタイに見るも、明瞭なる事實である。基督は、能く、之れを洞察して、其捨て難きものを擁抱しながら、捨てられたる境界に、低徊彷徨せるを見て、同情を禁ずる能はなかつたであらう。斯くして、基督は、悲しむものと共に悲を分ち彼を一道の光明に導き、終に、共に〳〵、喜悅の境遇に到るを、無上の榮、無上の樂、無上の快となし給ふたのである。

實に、銹び果てたる劍刀も、研工の手に委すれば澄磨せられて、鋭尖たるが如く、一度は、芥堆の中に捨てられたる、税吏輩の銹び果てたる心も、基督の同情てふ砥礪によつて、始めて眞の光輝を發するに至つたのである。至此、眞友情は、死も亦これを活かしむるの力がある。

虛飾にして浮薄、形式と形式との交換、利勢に趨り、衷心を隱して表面を衒ふに急なる今日の時代に於て、基督の如き、同情の漲れる友情は、この墮落し行く時代の頽勢を救ふに於て、殊に、適要なるを感ぜざるを得ない。

其二に、基督の友情は、あらゆる階級、あらゆる社會の人に及んで居るばかりでなく、實に、其敵にまでも及んだ。

夫れ「己を愛するものを愛し、兄弟にのみ安否を問ふ」は、天下普通の友情のなす所であるが、しかし之は、未だ、友情の眞諦に至つたものでない、基督は、之を目して税吏の友情といひ給ふた。

言ふ迄もなく、私共の友情は税吏の友情より卓越せねばならぬ。

卽ち、私共の學ぶべき、基督の友情は、基督自身が「咀ふ者を祝し憎む者を善視し虐遇迫害もののために祈禱せよ」の教訓を實行し給ふに於て、遺憾なく發揮された。曰く「父よ彼等を許し給へ其爲す所を知ざるが故に」と、之れ基督を磔殺するものの爲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に祈り給ふた基督の祈であつた。

思へば、基督の世に在り給ふた時には、基督を敵視して、反抗を逞ふするものは、數少なくなかつた然かも、基督は、此等敵對者に對して、未だ、嘗て敵視し給ふたことは無いのである、基督は、敵を慈しむことを知つて之を嫉むことを知り給はなかつた敵を愛することを知つて敵を憎むことを知り給はなかつた。基督の眼中には、敵者は無かつた。己に反抗するものも、亦、同じく神の子として、親愛すべき兄弟であつた。これ、友情の極度である。基督の崇高にして絶大なる性格は、實に、この友愛の情念を基礎として建てられたものであつた。

借問す、今の時代は、この友愛の情念の饑饉ではあるまいか、所謂、税吏の友情さへも地を拂ひ行く友は友を賣つて、利權のある所に蟻集する皆然り、豈に、敵のために祈るが如き心底ありと思ふことが出來やう、私共は、この時代人心が漸次に、荒び行く有樣を見て、寒心に堪へざると同時に基督の友情に學ぶべきを痛切に感ずるものである。

獅子國物語

（大唐西域記の中）

はにわ

昔むかし、印度にある王國がありました。其國王の女が隣國に嫁入らうといふので、お嫁入りの支度も萬端整ふて、今日は黄道吉日を選んで、目出度い目出度い御婚禮の門出の日となりました。王城から隣國へは、野を越え山を越え河を渉つて、遙々行かねばならぬ里程の遠さですから、途中で若し盜賊などが、此美しい愛らしい姫君を欲しがつて、攫つて行かれては大變だといふので、弓矢を持つたり長い槍を閃めかせたりした究竟な兵卒に警衛させて、御供そろへ肅々と、ある山路にさしかゝりました。椰子の林の晝猶暗く、九十九折の陰みち、二人とは並んで通れぬ所に、時々溪河の流れの音ではない、異やうの呻なり聲がきこえます。

はてと思ふと、人間より早く、前驅の騎兵の乘つて居つた馬は、ぶる〳〵と身を震はせて、忽ちそこに立悚みました。

傳へていふ、獅子のうなり聲を聞く時は、梢にすがる木の葉猿も、膽魂が身に添はず。忽ち手足が萎えしびれて、恰も熟した柿の實のやうに、我からバタ〳〵墜るとかや。

つい鼻の先の茅茨が、人のたけより高く生ひ茂げつた叢から、犢のやうな獅子王が、其巨眼を光らせてさきから此行列をみまもつて居たのを認めたお供の人々、わつと云つたまゝ、倒けつ轉びつ逃げ出して、梢にのぼる者もあり。谿川に落る者もあり。蜘蛛の子を散らすが如く、右往左往、姫君を御輿と共に放り出し、駄馬も調度も投げすて、蹂躙つて雲霞とにげ去りました。

獅子は夫等を追はうともせず、のそり〳〵と、大跨に歩みよつて、路の傍に打ち捨られた手輿の中に、死んだやうになつて、俯伏しになつて居る姫君を嗅えて、わが肩に輕々とのせて、飛鳥の如く、山又山の己が棲所につれて行きました。

少時あつて、人心地やゝついた姫君が、あたりを、つく〴〵と見まわすと、薄暗い濕つぽい洞穴に草おりしいて、自分を臥かせて、側には獅子王が臥そばつて、咽喉をごろ〳〵云はせながら、しきりに掌をなめてゐます。

驚き極つて、もう膽のすわつた姫君は、さては自分は早かれ晩かれ、これが牙に懸つて死ぬ生命であらう。なまじいに、逃げて捕まへられたり、投げられたりするより、尋常に殺されやうと、思ひ諦めながら、あまりの怖しさと悲しさに、またなよ〳〵と氣を失つて倒れてしまひました。

所が、獅子は決して害を加へやうとしません。其翌日は朝はやくから出て、歸る時には種々の木の實蕨の根などをついばんで來て「之をお食りなさい」と云はぬばかりに、女の側に置いて見て居ます。そこで女はいつかに饑えて死なぬことを得たのですが、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

晝夜となく獅子は女の行動を油斷なく監視して居るやうで、一寸居ないと怖ろしい貌をするのですからもう家へかへる望を絶つてしまひました。
このわびしい洞穴を、自分の住居とすみなれてみると、さすがに、獨りぼつちの寂寞さは、彼の恐ろしい獅子王でさへ、友達のやうに思はれて、歸りの遲いのを待ちわびるやうになりました。
獅子もこの美しい姫君を大事に册いて居たのですがやがて、獅子王が夫となり、姫君は妻となつて、年月經て一人の男子を產みました。
さすが獅子王の血統をひいただけあつて、此男の子は人となるまゝに、力の強い、身の輕い、そして母姫君に似て容貌はしい少年になりましたので、父母の鍾愛一方なりませぬ。ことに父獅子は目も鼻もなくして、愛するこの妻子の爲、旦暮のものを乏しからせまいと、全力を擧げて奔走して居ます。
或時、この子、母に向つて、
「母さま、私は何故、人間でありながら、人里離れた山奥に住んで、そして非類を父さんと呼んで居るのでしやう。
と尋ねます。母は今さらに、我身も怨めしく、故郷も戀しく、
「夫はおまへが不思議に思うも無理ではない。まことをいへば、
斯うかうと、十五年前の不思議の厄難を話して
「とてもかくても、私はこれで一生を盡すのだ
と、うち萎れて大息をつきました。
息子は夫を打消して
「そんな氣弱なことを仰しやるな。何時までといふ限りもなく、我々永い一生を、斯うして詰らなく生活す程不幸なことがありましやうか、寧そ父さんの居ない留守に急いでこゝを立退いて、故の王城へかへらうぢやありませんか
と、薄情なことを平氣でいひます。
母も初は聽き入れなかつたのですが、其身も慣れなり、我子の願も可哀ゆしなりで、どうやら心は進ま

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ないけれど、澁々ながら同意しました。

そこで、父獅子王を遠ざける工夫に、二三日女は食をとりません。最愛しい妻が物も言はず、弱り臥してるを見て、獅子は頻りに心配するのをみすまし、

「幼少い時に所好だつた金柑の甘いのだつたら、食べらるゝか知れません

と、言ひ出しました。何がさて容易いことゝいふので、明日ともいはず、獅子は其まゝ身を反して洞を出たのですが、容易いやうで容易うは手に入りません。今はもう一年中の降雨期で、金柑の實の一粒だも、緑の葉の裏には見出し難い。

其暇に母子は、すつかり旅裝をして、住なれた所を後に、河を渉つたり、野を越えたり、山をこえたり故の王城に着きましたが、もう一昔經た今日は、故郷はすつかり變つて往古みた大厦高樓は取壞され、曠野の原は、いつか城廓となつて尋ねやうにも方角が知れません、知らぬ他國に來た心地です。

辛うじてたどりついた城門の下に、しかじかの者と名乘ると、大喝されたも道理、先代の父王は、どうに世を去り、國は大きな強い國の司配の下にたつて親屬の行方さへ知れません、夫に立よつた母子の姿は憔悴れはてた秋の楊柳、襤褸の袖は肌を蔽ふにも足りぬので、非人乞食とみられたのも無理はない。

母は恥かしさと悲しさとに泣たをれたのです。

どうしやうもないので、母子二人形ばかりの茅屋を結んで寠々しく住んで居ると、近所の人が憫んで或は食物を贈り、なるべく夫に使ばしりや賃仕事を頼んで、生活に困らせないやうにしました。

（つゞく）

◉高女。鐵道。三越

其筋に於ける昨年度の調査によると。全國の高等女學校の數は二百六十校で、その生徒の總數は五萬九千三百四十七人。外に實科高等女學校が九十四校。その生徒は六千八百十一人である尙その外に、私立高等女學校が十一校ある。

鐵道に勤めて居る婦人の數は、總數が一萬二千五百四十三人で、その中百七十八人は判任である。

三越呉服店には、二百五十人の婦人店員があつて、中百人は販賣部に、百五十人は製造部に働て居る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

彙報

◎全國靑年會大會

四月一日より五日間開會

萬國基督教學生同盟大會總幹事博士ジョン、アール、モット氏の來朝を機とし、全國學生大會を開催し、大に敎育家學生間に精神的傳道的方面の覺醒を促さんとの企劃あることは、前號の本誌上に掲載せし如くなるが、右は愈全國靑年會大會として、今四月一日(火曜日)より五日(土曜日)まで五日間、東京市神田區美土代町基督敎靑年會館に於て開會することゝなれり。今其大會時間表の概要を掲ぐれば、

四月一日（火曜日）

午前自九時至十時　開會式（司會元田）
午前自十時至十時四十五分　協議會
午前自十時四十五分至十一時十五分　祈禱會
午前自十一時十五分至十二時　聖書研究
午後自二時至三時　講演（司會元田、講師植村）
午後自三時至三時十五分　祈禱讚美（司會元田）
午後自三時十五分至四時三十分　講演（司會元田、講師柏井）
午後自七時至九時　演說（司會元田辯士栗原 海老名）

四月二日（水曜日）

午前自九時至十時　講演（司會井深講師モット）
午前自十時至十時四十分　協議會
午前自十時四十分至十一時十五分　祈禱會
午前自十一時十五分至十二時　聖書研究
午後二時　懇親會（小石川植物園）
午後自七時至九時　演說（司會井深、辯士モット 原田）

四月三日（木曜日）

午前自九時至十時　講演（司會原田、講師）
午前自十時至十時四十五分　協議會
午前自十時四十五分至十一時十五分　祈禱會
午前自十一時十五分至十二時　聖書研究
午後　社會事業視察
午後自七時至九時　演說（司會笹尾、辯士モット 平岩）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四月四日（金曜日）

午前自九時至十時 講演（司會原田、講師山室）
午前自十時至十時四十五分 協議會
午前自十時四十五分至十一時十五分 祈禱會
午前自十一時十五分至十二時 聖書研究（司會今井）
午後自二時至三時 講演（司會三谷、講師河井）
午後自三時至四時三十分 各種集會（牛込區出町三ノ十二女子青年會本部にて有志茶話會）
午後自七時至九時 演說會（司會元田、辯士モット、千葉）

四月五日（土曜日）

午前自九時至十時 講演（司會井深、講師高木）
午前自十時至十時四十五分 協議會
午前自十時四十五分至十一時十五分 祈禱會
午前自十一時十五分至十二時 閉會式（井深、モット）

右大會につき我が日本基督敎女子青年會は大會の方針に從ひて夫れ〴〵準備する所あり、各支部へは一々通知狀を發して代表者其他の出席を促したるが經費上の都合にて出京費の補助は代員一名分以外に支出するの餘裕なきを遺憾とすれども、今回の如き稀有の大の集會なれば豫定人員の許す限り諸姉の爲便宜を圖るべければ、支部を代表すると否とに關はらす各地の姉妹方の奮て出席せられん事を希望して止まず。而して、出席の諸姉は始より終りまで連續して諸集會に出席せられんことを希望す。

大會出席諸姉の宿所は招待したる方々のためには東京女子青年會寄宿舍を充用すべく豫定しあれば着京の上は直に同寄宿舍に入らるゝ方相互の便宜なるべし、其他の諸姉は各其申出に從ひて宿所其他とも便宜の幹旋を採るべし、但し、豫め本部庶務課へ宛て其要件を申越さるれば相互の爲に好都合ならん。

萬事可成行屆くやう焦慮せるも多數のこと故、不行屆を免かれざるべく、殊に地方より出席の諸姉は不便も多かるべければ、大會に關する用向は遠慮なく本部庶務課へ照會せられん事を希望す。

◎婦人傳道講演會

時は四月六日の日曜日
所は富士見町基督敎會

東京基督敎女子青年會主催にて、來る四月六日午後

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一時半より麹町區富士見町六丁目富士見町教會堂に於て、婦人傳道講演會を開き、講師は今回來朝の博士ジョン、モット氏にて婦人問題に就き講演を乞ふ筈なれば一般婦人有志の來聽を希望すと云ふ。

◎ヘンダーソン博士の來朝

米國シカゴ大學社會學部教授博士リチャード、ヘンダーソン氏は、去る三月五日を以て來朝せしが、同博士はシカゴ大學に於ける交換講演の用務を帶び社會行政の視察と監獄制度及び一般社會事業取調等を主なる目的とし、昨年晩夏郷國を出立し歐洲諸國より印度支那を經て、今回來朝せしものにて、同博士の本邦滯在は僅に十餘日に過ぎざりしが、其間帝國大學を始め早稻田慶應諸大學及び東京青年會慈善協會歡迎會等に出席して、其蘊蓄せる所を講演し現下の社會問題に對し多大の覺醒を促したり、更に日光を見物し十五日横濱解纜のマンジユリヤ號にて歸國の途に上りたり。因に同博士の講演「國家の進步」は本號誌上に收錄するを得たれば就て一讀ありたし。

◎日曜學校聯合生徒大會

東京五部會日曜學校にては、今回日本支那朝鮮其他東洋諸國の日曜學校視察のため來遊の世界日曜學校協會代表者たる同協會常務委員エチ、セ、ハインツ氏始め二十九名の視察員歡迎の目的を以て、去る三月廿一日(春季皇靈祭)午後靑山學院構內に於て聯合生徒大會を開き、同夜は神田青年會館に於て宗教々育大演說會を、越へて二十三日午後同所に日曜學校教職員幷に教役者懇話會を開催し、何れもハ氏其他の演說ありし由。

◎萬國學生祈禱日　去る二月二十三日(日曜)は萬國學生祈禱日にて各所に祈禱會を開きたることは前號誌上に報告したるが、今その集會の概況を報ぜんに同日東京市內に於て各適宜の時間に祈禱會を開きたるは十七個所にして、其出席者の總數は六百五十餘名でありました。今年の集會は各所とも別に先生方を聘して特別の講話などを請ひしはなくて、全く祈禱日の趣旨に基きて純粹の祈禱會を開き、互に奬勵し互に祈禱し、何れも靈に滿ちたる力ある集會なりし由の諸報告に接しましたので感謝いたしました。

◎日本基督教女子青年會本部

△總幹事ミス、マクドナルドは、神戶女學院青年會大會のために三月十六日出發、大會後京都大阪を經

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て十三日歸京されたり。
へミス、クレーンは、プリマ大學卒業の方にて、今度上海女子靑年會の幹事として赴任の途次、當本部に立寄數日滯在、三月下旬出發赴任されたり。

△東京靑年會體育部長大森兵藏氏は昨年瑞典オリンピック競技會に赴き途中病に罹り一月中終に米國に客死され未亡人は遺骨を擁して三月六日歸朝し引繼き葬儀執行されしを以て本會よりは河井總幹事會葬したり、未亡人は米國ウスタアの方なるが今後は府下大久保に在住して子供遊戲場を創設し亡夫の遺志を全ふせらるゝ由誠に悼はしき事の限りなり。

◎東京基督敎女子靑年會

▲委員例會　三月十三日芝區榮町ミス、ボーフラワーの御宅に於て委員例會を開きました。出席の委員の方々は十二名で大要左の報告がありました。

寄宿舍委員より　米其他物價の騰貴につれて舍生の食費を改正する必要を生じ、四月より月額金七圓となす事とし、其旨舍生及父兄にも夫れぐ\通知しました。又寄宿舍家屋の所々に破損の個所を生じましたので、修繕に着手することに致しました云々。

傳道委員より　其後看護婦のための集會及び工場傳道も漸次發展してまゐりまして益々有望で御座います。其結果各一名づゝの副委員を增置することに致しました云々。

會員委員より　二月中には新會員二名（ミス、マクドナルド、高山よし子）を得ました丈けであります、何卒會員の新加入の勸誘に盡力を願ひたいと思つて居ります云々。

▲資金募集　本會中央舘建設其他事業資金の募集は引繼き着々進捗して居ります、前報告にも申上ました通り澁澤男爵の賛助を得まして早速男爵御自筆の添書を下さいましたので、本會事業資金募集趣意書と共に京濱の有力者六十餘名の方々へ發送致しまして寄附を願ひました。又た常時本會に開く聖書の組にても各組にて出來丈けの募金をして寄附したいと熱心に計畫しく居ります。前報告後寄附を得ました金額は金七百拾參圓參拾錢で前回報告の分と合計しますと金七千七百八拾貳圓參拾錢となりました。

▲看護婦會　看護婦社會に對しての働も其後漸次進步して居ります、麴町區三番町木澤病院に於ても、この二月以來數回の集會を試みました、毎度有實の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

集りで御座いまして、殊に木澤病院長は看護婦諸氏の宗教的修養を主張さるゝ方にて頗る好都合に運んで居ります、此看護婦傳道に就ては次號に報告し又右木澤病院長の意見も紹介したいと思て居ます。

▲四月例會　四月の例會は學生大會其他色々の事故が多いので三月二十七日に繰り上げて小石川の新渡戸博士の御宅で開會いたしました。

▲茶會招待　今回モット博士と共に來朝のモット夫人のために本會長三宮男爵夫人は茶會を催さるゝ筈にて本會委員をも同じく御招待を受けました。

◎神戸女學院青年會年會

神戸女學院女子青年會は、昨年組織されしも未だ中央部との聯合の運びに至らざりしが、今回、其組織を改め校内の諸團體を合併し一團となして女子青年會の名稱を冠する事となり且中央部との聯合にも加はることゝなりたるを以て去る三月七、八兩日同學院内に於て其第一回年會を開きたり、當日は中央本部よりはマクドナルド總幹事出席され、七日は午後一時より役員の選擧を行ひ引續き規則改正の議事あり、八日には午前九時より新選の役員諸姉を會して

本誌御購讀の諸兄姉へ謹告

本會發行の「女子青年界」は明治の女子と題し發行の頃より御同情を蒙り漸次發行部數も增加致し益有望の域に達し誠に感謝に堪へざる次第でありまして猶此上ながら諸兄姉の御翼賛により一層の發展を期して居ります。然るに本會當局者の不注意にて事務の敏活を缺き本誌代金等の整理も屆かず爲に本誌會計に於ては多大の負債をも生じて居る場合であります。就ては此際誌上の改善發展を期すると共に事務上萬端の整理も致したいと存じますから甚だ催促がましく申上るは本意ならぬ至りですが本誌代金未濟の兄姉は何卒本會が代金切れの御通知をも申上ざりし過怠を宥し此際前金共至急御送金の御手數を煩はし度御願ひ申上ます

尚ほ今後は本誌代前金切の向へは本誌發送の節に御通知に代へて帶封へ［前金切］と捺印致しますから左樣御承知の上御送金を御願いたします

大正二年三月

京市牛込區田町三丁目十二番地

日本基督教女子青年會本部

振替貯金口座東京貳參七貳參番

女子青年會の働き及活動方法等につき熱談協議等をなし、午後は「女子青年會の義務責任」と題し總幹事ミス、マクドナルドの講演ありたり。頗る活氣に溢れたる好集會なりし。

◎神戸、京都、大阪へ

私は神戸女學院女子青年會が今回我が聯合に加入さるゝことゝなりまして、其第一回の年會を開かるゝといふので三月六日の夜行列車で神戸へ向ひました箱根の關も富士の麓もさては尾濃の曠原も知らぬ一睡の間に過ぎて翌朝神戸に着き早速午後からの會合に出席しました、此日と翌日とは色々有益なお話も承り意見も申上げて全く青年會の用向に費し、其夜直に京都へまゐりました、明くれば九日の日曜にて靜な安息日を守り緩くりとしかも二回メビー博士の愉快なる講演をうかゞひました之れは東京に居ては到底も出來ないことであります、月曜日午後大阪に廣岡淺子姉を尋ねて種々會談の中に大阪に於ける女子青年會を設ける必要のことなども話合ひまして惜しき袂を分つて即日京都へ引返しまして、同志社女學校にて女子青年會のいろ〳〵に就き一場のお話を致しました、しかし丁度試驗の際とて何の相談する時間もなく同校青年會役員にお目に掛る暇もなかつたのは最も殘念と存じました、十一、十二兩日は京都に滯留いたしまして其間牧野牧師松田藤田等諸姉にも面會いたし京都市に於ける女子青年會の創設を圖り又た藤田姉より御職業柄とて特に京都に於ては看護婦の爲に働く必要ありとの御意見は深く感じました、かくて到る所に受けたる厚き待遇と深き好意を感謝しつゝ恰度一週日の後に事なく本部に歸て同勞の友と手を握りました。（ミス、マクドナルド）

部數	定價(郵稅共)	海外	廣告	
一部	金五錢	金九錢	一頁 金六圓	半段 金貳圓
十二部	金五拾錢	金壹圓	半頁 金三圓五拾錢	一行 金貳拾錢

大正二年三月廿八日印刷
大正二年四月一日發行

發行所 京京市牛込區田町三丁目十二番地 日本基督教女子青年會
編輯兼發行人 東京市牛込區田町三丁目十二番地 河井道子
印刷人 東京市赤坂區田町五丁目十一番地 齋藤豁
印刷所 東京市赤坂區田町五丁目十一番地 齋藤活版所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

座古愛子新著

みつばさの蔭

（既に發賣）

定價五拾錢　郵税八錢

著者はさきに「伏屋の曙」一二巻を著はして、あまねく天下の人々に、實驗によれる神の恩寵の證をなし、順境の人と健康の人には「自ら起てりと思ふ者は倒れざるやう愼むべし」との神の聲となり、迷境に悶へる者、病褥に呻吟する人々には「外なる人は破るるとも內なる人は日々に新たなり」と。かくて著者は奨勵を慰藉とのエツセンスとなれり。

本書「聖翼の蔭」は、雌鳥が雛をその翼の下に集むるがごとく、神は愛の翼に抱かんとて、絶えず招きゐたまふ聖意を傳へんために、ものされしなり。病才媛が心血を灑げる文字に親しみたまへ。

春光麗かなる日みつばさの蔭に憩へよ

東京銀座京橋　警醒社書店　振替東京五五三番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子青年界
第十巻第四號
大正二年三月廿八日印刷　大正二年四月一日發行　（毎月一回一日發行）

YOUNG WOMEN OF JAPAN.

(Joshi Seinen Kai)

Volume X　　April, 1913　　Number 4

Students and Hostels　　Miss Matsu Okonogi
YWCA Hostels in Tokyo
The Advancement of a Nation　　Prof. Richard Henderson
A Strong Life　　Mr. T. Shirai
The Strength of Influence　　Miss Tei Ninomiya
Jesus and the Woman of Samaria　　Rev. E. Kashiwai
Teachings from the Life of Christ (III)　　Yu Ma Sei
A Tale of the Lion Country
(An old Chinese story)　　Haniwa
Miscellaneous
National Student Conference
Mass Meeting for Women on April 6
Dr. Henderson in Japan
The Sunday School Rally
The Universal Day of Prayer in February
Association Notes
YWCA Headquarters, Tokyo, Kobe Jo Gakuin, Miss Macdonald's Visit to Kobe, Osaka, Kyoto

The Official Organ of the National Committee of Young Women's Christian Associations of Japan.

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA